

# 第15回「杉並区教育ビジョン2022」意見交換会 報告書

開催日：令和4年11月12日  
会 場：大宮小学校

## 「みんなのしあわせ」を創るには

「杉並区教育ビジョン2022」では、私たちが大切にしたい教育として「みんなのしあわせを創る杉並の教育」を掲げています。今回の意見交換会では、大宮小学校の6年生がみんなのしあわせを創るにはどうすればいいのかを学校運営協議会委員や教育委員会の職員と話し合いながら考えました。



会場の様子

### ①「自分のしあわせ」とは何か。

最初に、参加者がそれぞれ「自分のしあわせ」とは何かを考え、グループ内で発表し合いました。

ある児童は「友達と会えるから、学校にいる時がしあわせ」と話しました。別の児童は「とても恵まれていることだと思うから、学校に通えることがしあわせ」と話しました。同じように思える意見も理由を聞くと児童の考えはさまざまであることが分かりました。ほかにも、「考えることは自由で楽しいから、将来のことを考えることがしあわせ」と話した児童もいました。

「自分のしあわせ」は人によってさまざまでしたが、多くの児童が何か特別なことではなく、何気ない日常のことにしあわせを感じていました。

### ②「みんなのしあわせ」とは何か。

続いて、「みんなのしあわせ」とは何か、グループで話し合いました。ある班では各々が出した「自分のしあわせ」の共通点を探しながら「みんなのしあわせ」に迫っていきました。そして、共通することは「うれしい」や「楽しい」という気持ちを感じることでないか、と議論が進んでいき、みんなのしあわせとは「みんなと一緒に何かを達成して、みんな喜びを感じる」と結論を出していました。

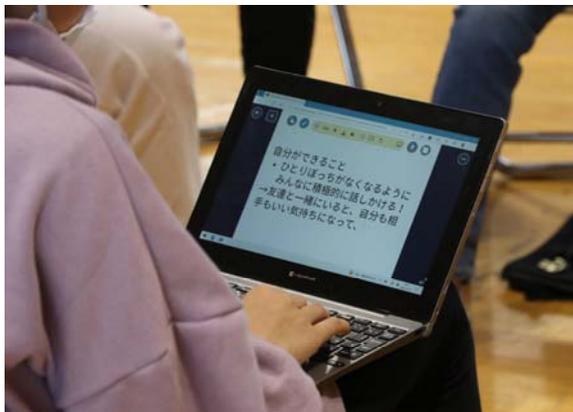
グループでの話し合いの後に、各グループの代表者が話し合いの内容を発表しました。

「みんなが好きな自分でいられることがみんなのし



理由も説明してくれたので、児童の考えが分かりやすく伝わってきました。

あわせ」、「生きていること自体がしあわせ」など、グループごとの話し合いの様子を共有しました。またあるグループは、「豊かさには物質的な豊かさと精神的な豊かさがある。どちらがより大切なのかをみんなで話し合ったら、お金では手に入れることができない精神的な豊かさこそが大切なのだ」と気づいた。」と発表しました。



「みんなのしあわせを創るためにできること」  
まずは自分の考えをタブレットに打ち込みました。



発表の様子。どのグループも短い時間で、分かりやすく説明してくれました。

### ③みんなのしあわせを創るには何ができるだろう

続いて、みんなのしあわせを創るために、自分には何ができるのかということを考えました。

あるグループでは、「自分と友達になれば、楽しませることができるから、多くの友達を作る」という意見が出て、「普段話していない人と話してみるのがいいのかもしれない。学校にはもっと仲良くなれる人がいると思う。」や「友達を作るということは、自分と相手の少なくとも二人が一緒にしあわせになれるから、いいと思う。」と話し合いが広がっていきました。

最後に、全体を代表して3人の児童が意見交換会で考えたことなどを発表しました。

ある児童は「みんなのしあわせを創るには、まず自分がしあわせになることが大切。自分のしあわせを多くの人と共有しなくてはいけない。だから自分がしあわせになれないとみんなのしあわせは創れない。」と話しました。ほかにも「そばにいてあげることが大切だと思った。共感してあげられる誰かがいることで人は安心できる。」「みんなのしあわせとは一人ひとりの小さなしあわせを大切にすることだと思う。」と意見交換会の中で考えたことを自由に話してくれました。

## 意見交換会を振り返って

大宮小学校の児童が考える「しあわせ」を聞いていると、日常や学校生活をとても大切にしている児童が多いという印象を受けました。

みんなのしあわせについての発表の際、あるグループからは「みんなのしあわせは先生の寒いギャグ」という意見が出ました。授業など普段の学校生活の中で児童がしあわせを感じることができている、そんな学校の雰囲気が伝わってきました。また、そのような良好な雰囲気を児童みんなで作っているということを意見交換会の短い時間で感じることができました。

第15回「杉並区教育ビジョン2022」意見交換会 報告書

・開催日 令和4年11月12日

・参加者 大宮小学校6年生・学校運営協議会委員

令和5年1月 編集・発行 杉並区教育委員会 庶務課

〒166-8570 杉並区阿佐谷南一丁目15番1号 電話 03-3312-2111